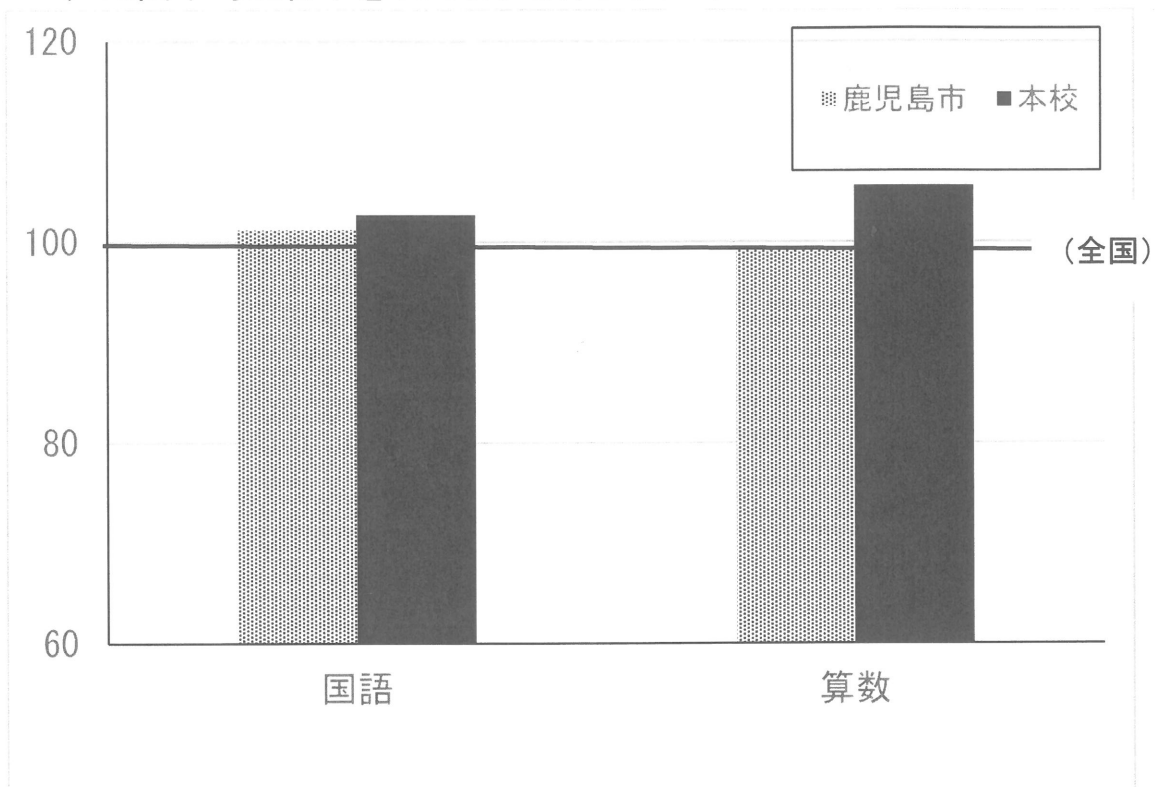


令和5年度全国学力・学習状況調査結果について 中洲小学校

1 自校・市・全国の平均正答率の比較 〈 全国平均正答率を100とする棒グラフ 〉



2 課題に対する改善策

【国語】

米作りについて文章を書く際の前段階の準備として用意したカードについて「原因」と「結果」を表すものを選択する問題の正答率が低かったです。原因については、「考えられる」など、結果については、断定した言い切りが語尾に用いられているなどに気付くことが大切です。今後は、単に読むだけでなく、構成や接続詞、語尾、キーワードなどを念頭に置いた読みのスキルが身に着く学習指導を行っていきます。

【算数】

図形領域に課題が見られます。特に、台形や正三角形の意味や性質について問われた際に切ったり、開いたりするなど、念頭操作が必要な問題の通過率が低いようです。図形の定義や性質について、単なる知識として覚えるのではなく、操作活動を充実させ、気付きや発見がある、「実感を伴った理解」に繋がられるようにします。

【全体的に】

普段の授業やテストとは一味違う問題を前に、子供たちは苦戦してたようです。問題の先に解決方法が見えているのではなく、何を問っているのか、資料等をどう活用するのかなど、問題の情報整理をしっかりと行う能力が求められています。そして「なるほど」「そうか」など、問題の意図を確認してから解答に移る姿勢が大切であると思います。今後は、授業の終末や毎週末の家庭学習において、良問に取り組みせる機会を設け、子供たちの応用活用力に磨きをかけていきます。